

[In Chinese - 中文版](#)[In English](#)[In French - en français](#)[In German - auf Deutsch](#)[In Italian - in italiano](#)[In Japanese - 日本語で](#)[In Korean - 한글](#)[In Russian - на русском](#)[In Serbian - na srpskom jeziku](#)[In Spanish - en español](#)

IFCMからのお知らせ

2022年世界合唱博覧会

2022年9月3日～7日、ポルトガル・リスボン

2015年の創設以来、これが2度目となりますが、IFCM世界合唱博覧会 (World Choral Expo-WCE) がポルトガルの美しい町、リスボンで開催されます。開催地のコミュニティに焦点を合わせ、現地委員会が設置される一方、IFCM WCE2022委員会は5つの大陸の各地の合唱団を迎える心躍るプログラムを企画しています。

- ・ プロの2団体を含む12の招待団体(合唱団・声楽アンサンブル)による演奏
- ・ 児童合唱団のためのカラフル・ヴォイセス(**Colourful Voices**)プログラム
- ・ シンギング・ネットワーク(**The Singing Network**)との共同企画、**EXchange!**プログラム
- ・ (招待団体以外にも)合唱団のための文化交流プログラム——様式、年齢層を問わず、世界のあらゆる合唱団が参加登録できます。登録すると、演奏の場(披露し合う、一緒に歌う、など)、招待指揮者による指導の場、国際的な合唱専門家が講師を務めるワークショップやセミナーの機会が得られます。
- ・ すべての合唱団やアンサンブルのためのワークショップとセミナー
- ・ 指揮法マスタークラス
- ・ ガラ・コンサート
- ・ IFCM年次総会
- ・ そして最後に、忘れてはならないイベント——IFCM 創設40周年の祝典。モンテ・レアル伯爵邸で、IFCMに捧げる特別演奏が行われ、創設40周年記念刊行物が発行されます



Kokopelli Youth Choir, cond. Scott Leithead (Canada) WCE 2019



招待合唱団の一部をご紹介します。Cantemus Youth Choir—指揮Denis Ceausov(モルドヴァ)、Collective Singers—指揮Ponti Dikuua(ナミビア)、Incantare Coro Femenino—指揮Natalia Vadillo(アルゼンチン)、Maze—指揮Merel Martens(オランダ)、Mosaica Singers—指揮Nedy Muna(ヨルダン)、Portland State Choir—指揮Ethan Sperry(アメリカ)、Shallaway Youth Choir—指揮Kellie Walsh(カナダ)、他多数。

今後もこのすばらしいプログラムの中身を徐々に発表します。どうか引き続きご注目ください。<http://worldchoralexpo.com>

世界合唱シンポジウム、カタール・ドーハ

カタールWSCM2023/24からのお便り——イスラミック・アート・ミュージアム
カタールでのWSCM2023/24は、中東とアラブの合唱音楽のエキサイティングな世界を見せてくれるでしょう。しかし音楽は、WSCM2023/24の参加者を待ち受ける数々の文化のひとつにすぎません。食べ物、パフォーマンス、芸術作品、博物館、歴史的な名所、海と砂漠の遊覧など、ドーハの町とその周辺には、来訪者を楽しませる魅力がたくさんあります。2023年に向け、Eニュースでは、これらの現地の見どころを、この地域の文化関連のニュースやスナップ写真とともに取りあげていきます。



ドーハの海岸地区のもっとも象徴的な建物、イスラミック・アート・ミュージアムは、ピューリッツァー賞を受賞した建築家、イオ・ミン・ペイが設計したものです。すでに引退していたペイはこの最後のプロジェクトのために現役復帰すると、何カ月もかけて中東を旅してまわり、イスラム世界とアラブの建築物を研究した後に、この大傑作を生み出しました。2008年に公式にオープンした彼のこの作品は、今日、現代イスラムの様式と統合の力強い象徴となっています。またそれは、



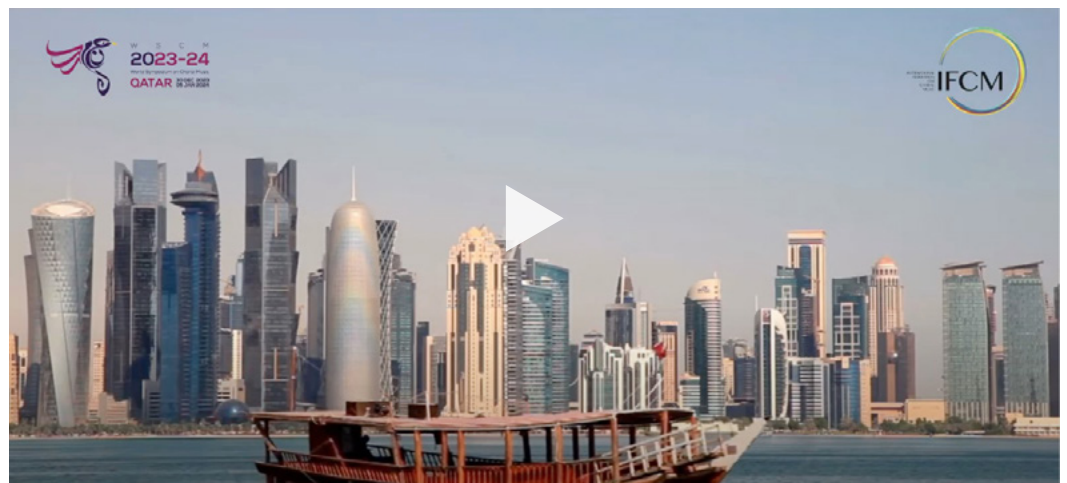
イスラム世界の芸術作品をもっとも幅広く、かつ、数多く収蔵する美術館でもあるのです。

イスラミック・アート・ミュージアムのコレクションには、織物、絨毯、ガラス細工、写本、宝飾品、陶磁器、金属細工などがあり、それらは、3つの大陸の1400年にわたるイスラム物質文化の歴史を網羅しています。収蔵物はすべてそれ自身が芸術作品なのですが、その多くは日常生活で使用することを目的に作られています。食器やランプ、敷物や壁材など、きわめてシンプルな道具や材料の製作においても、美の創造は、芸術を通じて表現したいという人間の普遍的欲求に訴えかけるのです。そしてその表現は、時代と場所を超えて受け継がれ、今日もなお、わたしたちに訴えかけています。

コレクションを収蔵するとともに、イスラミック・アート・ミュージアムは、館内に学習センターと図書館を備えており、ツアーやワークショップ、特別展示会も主催しています。WSCMとフリンジ・フェスティバルの参加者には特に興味深いことですが、ミュージアムには200席のホールと、定期的に無料室内楽演奏会が行われている屋外、屋内の公演スペースがあります。

イスラミック・アート・ミュージアムは、文化の協調、保存、革新を象徴する施設です。芸術とパフォーマンスと人を集結させるこの場所は、カタールの文化の目玉であり、すべての来訪者の旅行日程のなかで“見逃せないスポット”となっています。

このドーハのランドマークについて、さらに詳しく知りたい方は、こちらのサイトをぜひご覧ください。<https://www.mia.org.qa/en/>



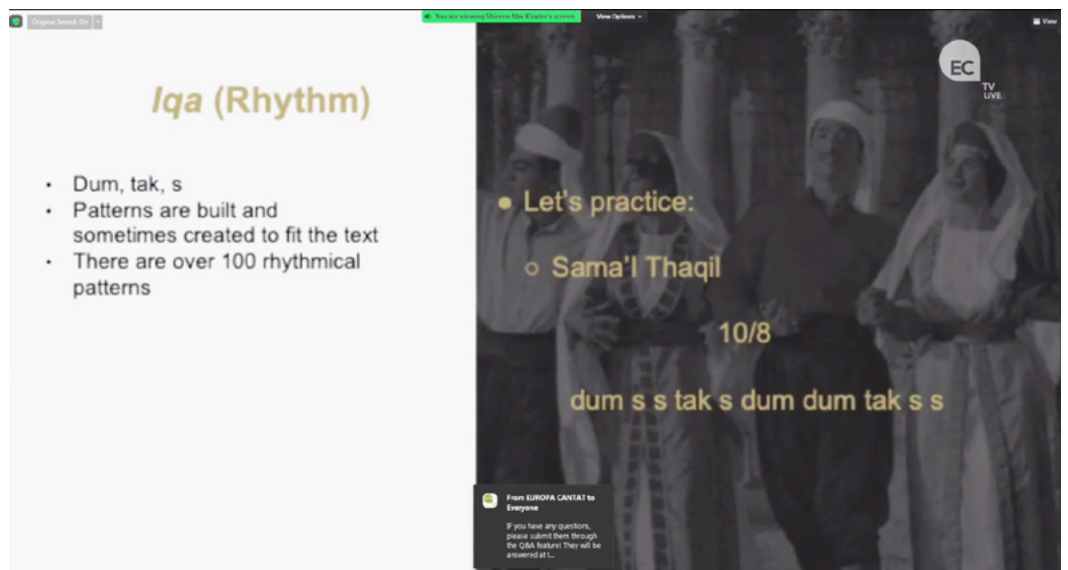
IFCMがヨーロッパ・カンタートで譜読み会を催しました

7月16日～25日、スロベニアのリュブリャナで開催されたヨーロッパ・カンタート・フェスティバルの枠内で、IFCMは、Shireen Abu-Khader(ヨルダン/カナダ)によるオンラインの教育講座、「レヴァント地方の合唱音楽へのアプローチ」を実施する機会をいただきました。アラブの国々には美しい合唱レパートリーという豊かな宝がありますが、多くの合唱指揮者たちは取り上げることにためらいを感じています。IFCMはこの講座と、2023/24年にカタールのドーハで開かれる次の世界合唱シンポジウムを通じて、国際合唱界にアラブ合唱音楽のす

ばらしい世界を発見していただければ、と願っています。

講座では、アラブの声楽曲3曲を研究することにより、アラビア語の発音、歌唱スタイル、情緒的、文化的背景を紹介しました。Shireenは、アラブの声楽曲のなかから多様なジャンル、リズム、音階、音楽様式の、多声部に適した、難易度の異なる曲を紹介しました。また、受講者がアラブの音楽を深く探究できるよう、それらの作品の歴史的、音楽的背景も解説しました。

この講座は現在もこちらで視聴することができます。[HERE](#)



2022年IFCM合唱作曲コンクール

国際合唱連合は、2010年にこのプロジェクトが発足して以来、4度にわたり国際合唱作曲コンクールを実施してきました。このコンクールの目的は、画期的で手の届きやすい新しい合唱曲の創作を促し、世に広めることです。

IFCMは、新たな合唱作品を普及させ、また、21世紀の合唱団のニーズに合った革新的な曲作りを促進するために、第5回国際合唱作曲コンクール([Fifth International Competition for Choral Composition](#))を実施することをここに発表いたします。

現代のグローバルな問題に呼応する、独創性、想像性、創造性を併せ持つ作品を楽しみにお待ちしております。

こちらで規約をご確認ください：[Rules and Regulations](#)

応募の締め切りは、2022年1月15日です。

ICBが創刊40周年記念のフォト・コンテストを開催します

現在、わたしたちはみな、家に閉じ込められていますが、IFCMの機関誌ICB([International Choral Bulletin](#))はずっと忙しく世界を駆け巡っています！ みなさんはどこでICBをお読みでしょうか？ ハンガリーの山、セント・ローレンス川のほとり、アイルランドの岸壁のもと、それとも、コルディエラス山系のどこか？ 木の下で？ あるいは、猫を膝に乗せて、暖かなストーブの

前で？ ICBを読んでいるあなた自身を写した写真をわたしたちにお送りください。美しく、独特で、エキゾチックな写真——お住まいの土地を象徴するような場所で、特に好きな風景に囲まれて撮ったものや、お持ちのICBのうちいちばん古い号と一緒に写っているものをお願いします。

もっとも独創的な写真は、2021年10月に刊行される創刊40周年記念号に大きく掲載させていただきます！

応募作品は、2021年8月25日までに、icb.editor@ifcm.net宛にお送りください。



**ICB
40th Anniversary
photo contest**

We've all been stuck at home ... but the ICB has been busy circling the globe! Where do you read yours?

Send us your most beautiful, unusual, exotic photo of yourself reading the ICB!

The most original photo will be given a prominent place in our October 2021 anniversary edition!

Send your picture to icb.editor@ifcm.net by 25 August 2021

アフリカ・カンタート

昨年のオンライン版アフリカ・カンタートの士気を維持して

アフリカ・カンタート組織委員会より、うれしいお知らせです。アフリカ・カンタートは、2021年8月から2022年8月にかけて、オンライン・イベントを3つ予定しています。この一連の合唱イベントは、2021年8月28日に、前回成功したZOOMライブ・イベントの第2弾から始まります。東アフリカ時間の午前10:00から午後1:00まで、当フェスティバルの運営委員会が、すでに1年以上つづいているコロナ禍での合唱界の困難にもめげず、すべての人がつながり、交流するための場をふたたび提供します。

この日のためにスケジュールを空けておきましょう。アフリカ・カンタートによる今後のイベントの情報にも引き続きご注目を！



訃報——IFCM理事(2005～2011年)、マヤ・シャヴィット(イスラエル)



合唱界の優れたリーダー、マヤ・シャヴィットが亡くなりました。享年85歳でした。謹んで哀悼の意を表します。

マヤ・シャヴィットは1981年、イスラエルの中心地、エメク・ヘファー全域からイスラエル社会のさまざまな階層の少女たち(9～18歳)を集め、エフロニ少女合唱団を創設しました。その後、2013年まで音楽監督を務めています。彼女の指導のもと、エフロニ少女合唱団は、ヨーロッパ、スカンジナビア、カナダ、アメリカ、日本で演奏旅行を行い、国際的に高い評価を得ました。

マヤはイスラエルの合唱シーンにおける最も活動的なメンバーのひとりでした。彼女は、数十年にわたり、国内外の児童合唱団の指導に力を注ぎ、協力して音楽を作ること、真に他者を受け入れることを若い人々に経験させてきました。また、ふたつの文化の懸け橋を築くことをめざし、寛容を是とする教育的なユダヤ-アラブの合唱活動に絶えず取り組んでいました。イスラエル教育省は彼女に、特別功労賞を授与しています。

2005～2011年、マヤはIFCMの理事を務め、合唱界に大きく貢献しました。2005年の世界青少年合唱団は、イスラエル世界合唱集会「ジムリヤ」、イスラエル合唱連盟「ハレル」、イスラエル青少年合唱連合によって主催されました。また、2006年、IFCMが初の「多文化民族会議」をエルサレムで企画した際も、マヤはその準備に携わりました。この会議は、アブラハムの3大宗教(イスラム教、ユダヤ教、キリスト教)とその文化および伝統の中心であるエルサレムに焦点を当てたものでした。何年もの月日を経て、カタル開催のWSCM2023/24が近づいている現在もなお、IFCMはそのときのヴィジョンを大切にしています。残念ながら、イスラエルの当時の政治情勢に鑑み、この会議は中止となりました。後にマヤはレポートに次のように記しています。「……大勢のキリスト教徒、



エフロニ少女合唱団——エイ・エー・エーの伝説より2曲

ユダヤ教徒、イスラム教徒から発せられる多様な歌声は、驚異のモザイクを成していました。関わった多くの方々のご協力は、わたしの心を揺さぶり、希望を抱かせてくれました。それは『～の声』のあるべき姿そのものでした……」

2008年、マヤはエルサレムでIFCM執行委員会の会議を開き、その場で「ジムリア」「ハレル」「ミラ」という複数の文化機関を委員たちに紹介しました。

また、2012年、中国の北京で開催されたIFCM世界合唱サミットでは、その分野の専門家のひとりとして、アンドレ・デ・クアドロス、ティエリ・ティエボーと共同で、「架け橋を築く」をテーマに講演を行っています。

マヤは、この先何年も、励ましと勇気と力とヒューマンイズムのよき象徴であり続け、大切な友として永遠に心に残ることでしょう。



IFCM創設メンバーからのお知らせ

ヨーロッパ合唱連盟(ECA-EC)

「歌うことの恩恵(#BenefitsOfSinging)」のその先へ

誰もが集団歌唱の恩恵を享受できる世界——それは、いまもわたしたちが住みたいと切望する世界です。「歌うことの恩恵」(#BenefitsOfSinging)キャンペーンは、第1段階を公式に終え、現在はその先(BEYOND #BenefitsOfSinging)へと進む段階にあります。キャンペーンのツールキットをチェックして、今後も、みなさんの仕事、活動、目標達成の助けとなるようアイテムをご活用ください。

ヨーロッパ合唱連盟は、個人および社会全体にとっていかに合唱が重要かをさらに伝え広めるために、ひとつの基盤としてこのキャンペーンを継続していき



たいと願っています。

引き続き、下記のツールや情報をご利用ください。

- ・ グラフィック(さまざまな言語の版があります)
- ・ 仕事に役立つ精選されたりサーチ
- ・ この活動に関するQ&A、等々……

一緒に声をあげ、「歌うことの恩恵」([#BenefitsOfSinging](#))について語りつづけましょう!



インタビュー・シリーズ:SHIFT「多様性の受容」

([SHIFT INCLUSION INTERVIEW SERIES](#))は、文化ネットワークや文化機関にとって多様性の受容とは何を意味するのか、そのさまざまな側面をテーマに、専門家たちの対談をお伝えします。

インタビュー・シリーズ:SHIFT「多様性の受容」での、ヨーロッパ合唱連盟とマリア・ヴラショウ(アセス・クルトゥラ、常務理事)の対談は、「採用、理事会、会員制度、イベントにおける多様性」をテーマに行われました。インタビュアーは、ヨーロッパ合唱連盟のプロジェクト・マネージャー、ソフィー・ドウデンです。

インタビューの筆記録は、こちらでごらんになれます。[here](#)



INTRODUCING THE SHIFT INCLUSION INTERVIEW SERIES

IN CONVERSATION WITH MARIA VLACHOU



マリア・ヴラシヨウとアセス・クルトゥラ(アクセス・カルチャー)については、下記のサイトでごらんください。

- ・ [Acesso Cultura](#)
- ・ [Acesso Cultura Capacity Building](#)
- ・ 文化について考える(ブログ): [Musing on Culture](#) (blog)

全米合唱指揮者協会(ACDA)

ACDAバーチャル全国大会、音楽における多様性([virtual national conference "Diversity in Music"](#))の録画へのアクセス料が値下げになりました。参加登録者のみなさんは、2021年12月まですべてのセッションと演奏の録画を視聴できます。

2022年ACDA地域別カンファレンス([regional conferences](#))の計画は着々と進んでいます!

- ・ 東部(マサチューセッツ州ボストン)——2022年2月9日~12日
- ・ 中西部(イリノイ州シカゴ)——2022年2月16日~19日
- ・ 南部(ノースカロライナ州ローリー)——2022年2月23日~26日
- ・ 南西部(アーカンソー州リトルロック)——2022年2月28日~3月3日
- ・ 西部(カリフォルニア州ロングビーチ)——2022年3月2日~5日
- ・ 北西部(ワシントン州スポケーン)——2022年3月9日~12日

次期常務理事の選任のプロセスは最終段階に入っています。今月中に結果を発表できる見込みです!

IFCM会員からのお知らせ

コーラル・カナダからのお知らせ

カンファレンスとフェスティバルから成るカナダの合唱イベント、ポディウム2022([PODIUM 2022](#))——“再創造、再建、再結合”に、ぜひご参加ください。主催者は、コーラル・カナダ([Choral Canada](#))とクワイアズ・オンタリオ([Choirs Ontario](#))です。直接、会場に足を運べる方々は、2022年5月19日~23日、オンタリオ州トロントに集うことになります。2022年のポディウムは初めてハイブリッド形式で開催され、バーチャルで参加する選択肢ができます。新型コロナウイルス感染拡大のもたらす困難とそれに伴うチャンス、公平と正義を求める声の高まりにより、わたしたちはいま、合唱界の新たな可能性を生み出す大きな機会を与えられています。カナダ内外の合唱団による素晴らしい演奏会、一流の講師や教育者によるカンファレンスやワークショップ、オンラインを含めたたくさんのネットワーク作りの場に、ぜひご参加ください。ポディウム2022は、演奏やアイデアを分かち合うこと、興味を満たし、聴き、考え、対話する場を作ることにより、声を合わせて歌うという行為に喜びを感じるすべての人を鼓舞



することをめざしています。参加申し込みの詳細については、こちらをごらんください。<http://www.podium2022.ca/>



ダリнка・マティッチ・マロヴィッチ(セルビア)を偲ぶ



ダリнка・マティッチ・マロヴィッチ (1937年6月2日生、2020年7月15日没)は、世界的に名高い、尊敬された女性でした。彼女は、芸術家、指揮者、大学教授であり、ベルグラード芸術大学の女性初の学部長でもありました。演奏においては、強固な意志、鋭さ、集中力、情熱、力強さを見せる一方、心は優しい人でした。ダリнкаは音楽の人です。彼女の名前を出すだけで、人々はすぐ3つの音楽団体を思い浮かべます。コレギウム・ムジクム・アカデミック合唱団、オビリッチ・アカデミック合唱団、そして、ベルグラード芸術大学音楽学部です。その傑出した業績により、ダリнкаは生涯を通じて常に高く評価されており、出身地域や世界で数々の賞を受賞しています。

ダリнка・マティッチ・マロヴィッチを記念して、モンテネグロのフェスティバル、KotorArtは、彼女の名を冠した特

別賞を設けました。この賞は2年に1度、その作品や活動により旧ユーゴスラビア地域における音楽の発展にもっとも大きく貢献した芸術家と、この地域出身の女性アーティストに授与されます。受賞者は、著名な音楽家で構成される国際審査団が決定します。本年の決定を、ダリнкаは笑顔で承認しているにちがいありません。受賞者は、ベルグラード芸術大学音楽学部教授であり、コレギウム・ムジカム合唱団の指揮者である、芸術博士ドラガナ・V・ジョヴァノヴィッチです。



Dragana V. Jovanović receiving the Prize

世界の合唱イベントカレンダー——2021年8月、9月

29 July-1 Aug: 1st Classical Music Summer Festival, Vienna, Austria — <http://www.concerts-austria.com/summer-festival-vienna>

4-8 Aug: Roma Music Festival 2021, Italy - <http://www.mrf-musicfestivals.com>

18-22 Aug: International Festival of Choirs and Orchestras in Paris, France - <http://www.mrf-musicfestivals.com>

25-29 Aug: 11th International Festival of Choirs and Orchestras, Prague, Czech Republic - <http://www.mrf-musicfestivals.com>

26-30 Aug: Sing Along Concert on Tour Milan, Italy - <https://www.interkultur.com/>

29 Aug-5 Sep: 11th European Academy for Choral Conductors, Fano, Italy - <http://www.feniarco.it>

2021年8月号

合唱界をつなぐボランティア



IFCMeNEWS

5-10 Sep: Trogir Music Week, Croatia —

<http://www.lacock.org>

19-25 Sep: Lucca Consort Week, Tuscany, Italy —

<http://www.lacock.org>

30 Sep: 36th Choral Composition Contest, Segorbe, Spain —

<https://www.jjmmsegorbe.org>

ヨーロッパ合唱連盟 (ECA-EC) 発行の合唱イベントカレンダー ([Calendar of Choral Activities](#))、および、全米合唱指揮者協会 (ACDA) のネットワーク、コーラルネット ([ChoralNet](#)) で、来月以降の合唱イベントをご確認ください。